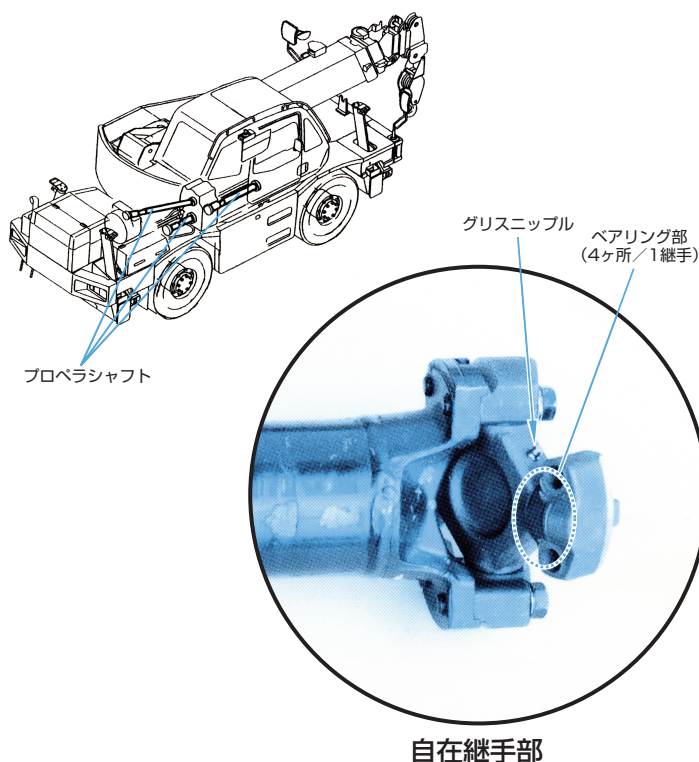


プロペラシャフトの定期点検について

駆動用プロペラシャフトは走行中高速にて回転する為、常にスムーズな作動が必要とされています。もしプロペラシャフトに焼き付き等のトラブルが発生した場合、走行不能となるばかりでなく、重大事故につながる可能性もあります。駆動用プロペラシャフトは必ず定期的に点検及びグリスアップをお願い致します。

プロペラシャフトの点検・グリスアップ……………1ヶ月毎



(1) グリス給脂箇所

※ニップルの汚れを落として注入して下さい。

1. スプライン部

2. 自在継手部

※自在継手部はベアリング部 (4ヶ所/1継手)

全てよりグリスが出るまで注入して下さい。

(2) 点検内容

1. 連結部のゆるみ

2. プロペラシャフトの振れ

3. 自在継手部のがた

4. スプライン部のがた

5. センタベアリングのがた (装着機種のみ)

6. ねじれ及び損傷

※異常がある場合はサービス工場にて交換等の修理が必要です。

※詳細については取扱い説明書をご参照下さい。

【速度警報について】

長い下り坂や急な下り坂ではスピードの出し過ぎに注意して下さい。

オーバーランを起こすとエンジン及びプロペラシャフトを含む駆動装置の破損等につながります。

スピードの出し過ぎにより速度警報が鳴った時は直ちに減速をして安全速度にて走行願います。

メンテナンスのご用命はタダノ指定サービス工場へ



株式会社 タダノ CS企画部作成